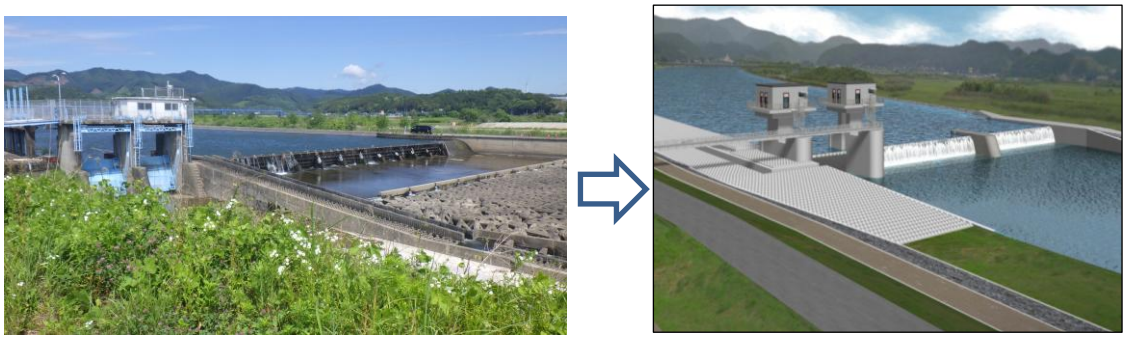
福島県企業局ニューズレター　第３２号　令和８年１０月２７日発行

皆さん、こんにちは。
工業用水道に関わる情報をお届けいたします。

【今回のトピック】
１　沼部堰の工事について
２　ベコ太郎の受水企業紹介！パート５

１　沼部堰の工事について

企業局の主要事業として実施している沼部堰の工事について紹介します。
沼部堰※1は、勿来工業用水道へ給水するため昭和３９年に鮫川※2に建設された取水施設です。老朽化により転倒ゲート※3からの漏水や不同沈下※4、令和元年の台風によって転倒ゲートに流木が挟まる等の被害が発生しました。
そうした状況を踏まえて、安定的な給水のため、令和４年度から沼部堰の改築工事に着手しました。大変重要な事業であり、大規模な工事であることから、現場での知られざる苦労があります。そこで、今回は「川の中に建設する堰工事の特徴」について、工事を受注するクレハ・林 特定建設工事共同企業体の水戸さんにインタビューを実施しました。



現　　新

※１　堰（せき）・・・川の水をせき止めて水位を調節し、農業用水や水道用水などを引き入れやすくするための構造物
※２　鮫川・・・二級水系 鮫川。鮫川村松曾根山を水源とし、いわき市錦町で太平洋に注ぐ二級河川
※３　転倒ゲート・・・板を倒したり起こしたりすることで水位を調整する水門設備
※４　不同沈下・・・構造物の重さや地盤の脆さが原因で、構造物が斜めに傾く現象

インタビューに応じていただいたのはクレハ・林 特定建設工事共同企業体、施工管理者の水戸さん（クレハ建設株式会社）です。水戸さん、よろしくお願いします。



施工管理者：水戸さん

よろしくお願いします。

沼部堰改築工事にはどのような特徴があるのでしょうか。

沼部堰改築工事は、大規模な土木工事であり、工期も長いことから、河川の中で通年で施工を行うことが大きな特徴としてあげられます。

どういったことに気をつけて作業していますか。

近年は、異常気象による線状降水帯の発生や現場の上流に位置する高柴ダムからの放流もあり、河川の水位が急激に上昇し、現場の状況が短時間で大きく変化することがあります。そのため、水位の上昇が予想される場合には、安全確保のために作業を中断したり、事前に資機材や重機を安全な場所へ退避させたりするなど、早めの対応を心がけてきました。

天気に大きく左右されてしまうのですね。
また、安全管理などの対応に苦労されているのですね。

正直なところ、事前に大雨や出水を想定して準備をしても、結果的に大きな被害がなく空振りとなることも多くありました。もちろんその後は、現場を止めてしまったので、工程を組み直したり、関係者との調整を行ったりすることは大変でした。しかし、現場に被害を出さないこと、そして作業員の安全を守ることが何よりも大切だと考え、施工管理を行ってきました。



（２０２６年９月の大雨による出水）

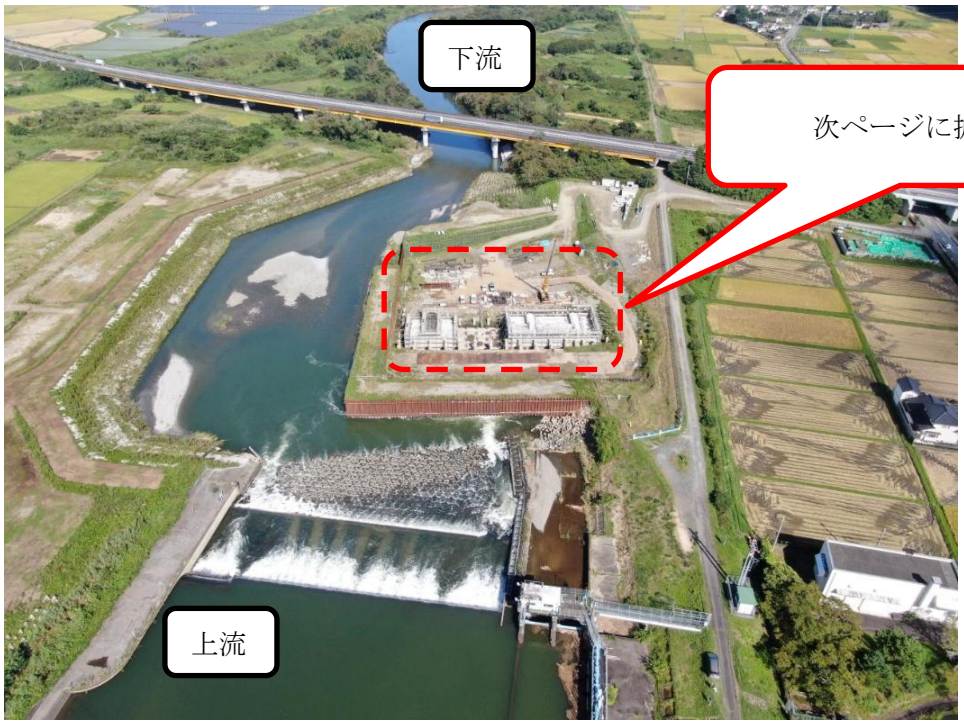
大規模な堰の工事になると施工管理は大変になってきますね。
この堰の工事を通して、特に注意していることはありますか。

気象情報をできるだけ早く把握し、先行して準備することが重要だと思いました。また、得られた情報を現場全体で共有し、最悪の事態を想定したうえで、迷わず迅速に判断・行動することの大切さも実感しました。

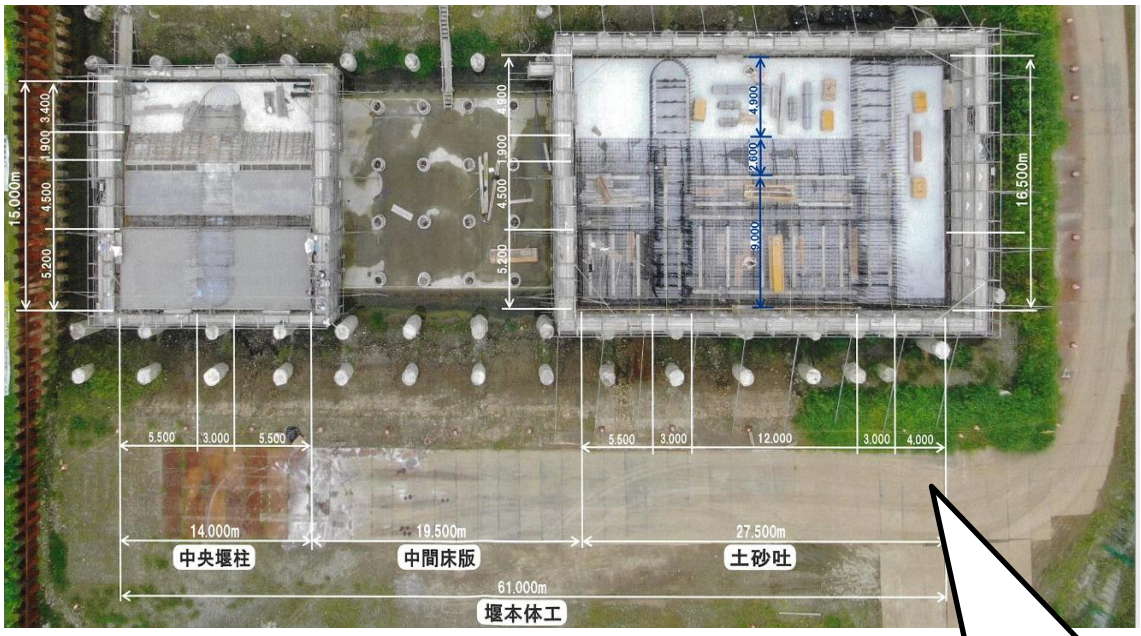
これからに向けて一言お願いします。

今後も安全を最優先に施工管理を進めていき、工事の竣工まで無事故・無災害を徹底し、無事に沼部堰を完成させられるよう、責任を持って仕事に取り組んでいきたいと思います。

本日はありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。



上流からの風景（令和８年９月撮影）



拡大画像

※土砂吐き
　…取水設備などに付属して設けられ、堆積した土砂を排除して取水に支障が出ないようにするための構造物
※中間床版（ちゅうかんしょうばん）
　…橋梁などの複数主桁の間に水平に配置されるコンクリート製の床版（スラブ）のことで、上部にかかる荷重を分散して支える役割



土砂吐部分のコンクリート打設

２　ベコ太郎の受水企業紹介！パート５

ふくしまを応援する「ベコ太郎」が受水企業を紹介します！
第５回目の今回は、いわき市で工業用水をご利用いただいている、「常磐共同火力株式会社」様 にお話をお伺いしました。
詳しくは以下のリンク先をご覧ください。
http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/60015c/user-syoukai.html

＜編集後記＞

こんにちは。編集担当のＳです。

１０月になり、すっかり秋になりました。ただ、思い返すと今年の夏は昨年とは異なり、天気が悪い日が多く猛暑が少なくて、比較的過ごしやすい日が続いたと感じています。毎日、徒歩通勤をしていますが、職場に着いたとき汗だくにならず助かりました。

季節の変わり目で涼しくなってきましたので、体調に気をつけて、仕事に取り組みたいと思います。

これまで毎号お知らせしてきた「工業用水道放射性物質モニタリング結果」及び「ダムの貯水状況」については、モニタリング結果が平成２３年１１月以降検出限界値未満であること、また、ダムの貯水状況が現在ほぼ満水で給水に影響がないことなどから、今後、状況の変化がある場合にお知らせします。

なお、最新情報については、以下のリンク先をご覧ください。

モニタリング
https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/60015c/monitoring.html
貯水位
https://kaseninf.pref.fukushima.jp/web_pub/dam/010401_60_1_0.html

皆さんの御意見、御感想などをお聞かせください。
御意見、御感想などはこちらからお願いします。
kougyou_keiei@pref.fukushima.lg.jp

福島県企業局
〒960-8670 福島県福島市杉妻町 2-16
電話　024-521-7572（代表）
mail　kougyou_keiei@pref.fukushima.lg.jp
企業局いわき事業所
〒971-8185 福島県いわき市泉町字小山 310
電話　0246-56-5821（代表）

※　配信先変更及び配信停止は、上記アドレスから御連絡ください。